

ソーシャルイベント研究会レポート（9月10日）

■日 時 平成 26 年 9 月 10 日(水) 16 : 00~18 : 00
■会 場 「布文化と浮世絵の美術館アミューズミュージアム」
2 階特設会場
(台東区浅草 2-34-3)
<http://www.amusemuseum.com/>

■内 容

第一部：プレゼンテーション（事例研究）16 : 00~16 : 45

「リ・ファッションコンテスト」にみるコンテスト運営と継続の舞台裏
プレゼンター／ 鈴木純子

第二部：特別ツアー 16 : 45~17 : 30

「布文化と浮世絵の美術館アミューズミュージアム」館内見学 解説：辰巳清 館長

第三部：情報交換および「リ・ファッションコンテスト」投票

■出席者 9 名

座長：小林政則（イベント支援ネットワーク）
内田なお子（昭栄プリント）、沖佳保里（コブタカンパニー）、
加藤淑子（エンコーポレーション）、清水佳代子（シミズオクト）、
鈴木純子（日本リ・ファッション協会）

[オブザーバー]

鈴木裕士（金谷美術館）、佐藤翔一（B o A）

[特別参加]

辰巳清（アミューズミュージアム館長）



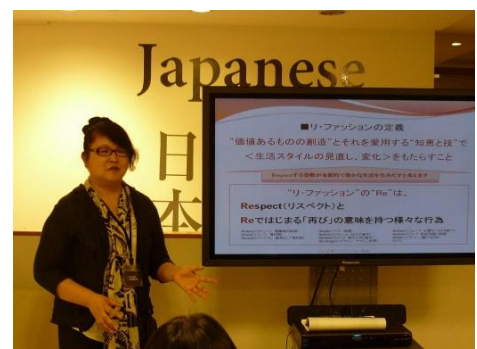
■第一部：プレゼンテーション（事例研究）

「リ・ファッションコンテスト」にみるコンテスト運営と継続の舞台裏
プレゼンター／ 鈴木純子

（概要）

生活スタイルの見直しと変化を促し、心豊かな暮らしの実現を目指す、日本リ・ファッション協会。代表理事の鈴木純子会員より、協会の主旨やねらい、活動内容について、また普及啓蒙活動として継続的に取り組んでいる「リ・ファッションコンテスト」の運営について発表した。

* 日本リ・ファッション協会 HP <http://www.refashion.jp/>



●設立の主旨とおもな活動

日本リ・ファッション協会は2007年9月に設立し、今年で6周年を迎えた。2000年以降、人々の中に芽生えてきた「環境配慮」や「ロハス」、リユーズやリサイクル率の向上等、従来とは異なるライフスタイルへの考え方を受けて、人の暮らしに欠かせない衣食住の「衣」の分野における循環型社会の実現を目指して協会を立ち上げた。

活動の根底にあるものは“リ・ファッション市場の創出”。企業や生活者には、新しいアクションを起こすきっかけの創出。モノづくりの担い手には、新たな表現の場や広く認知される場の創出。そして社会に“リ・ファッション”という新たな市場を創出するために、各種ワークショップやイベント等を通じて、情報発信を続けている。そして、協会の認知度と“リ・ファッション”への理解度を深めるために、年に一度定期的に開催している活動が「リ・ファッションコンテスト」である。

●「リ・ファッションコンテスト」の運営のポイント

“リ・ファッション”の普及啓蒙を推進するためには、リ・ファッション市場におけるスターが必要と考えて開始したこのコンテストは今年で5回目。予算もあまり無い中で、協会の活動に賛同する数社の企業と、取材を受けたマスコミの後押しも受けてスタートした。

審査は公開方式で、誰でも自由に参加できる。Webによる投票と、実際に作品を見て投票する展示投票の2タイプ。今年は12点の作品がアミューズミュージアム2階の特設会場に展示され、広く社会にアピールしている。

作品の素材はWeb等で呼び掛けて集めた不要になった衣類で、このコンテストのために毎回約600箱のダンボールが集まる。作品として使用しない衣類は、国内外に流通させて“リ・ファッション”の流れを循環させている。

* リ・ファッションコンテスト HP <http://www.refashion.jp/contest/index.html>



●コンテストに関わることで“リ・ファッション”の輪を広げる

このコンテストは作品の募集から表彰式まで、約半年の期間をかけて行っている。これは、応募者、衣類の提供者、投票への参加者、表彰式の参加者、協賛企業など、コンテストに関係する人達と、できるだけ長く関わりを持つことで、“リ・ファッション”への関心を深め、翌年のコンテストにも関わって欲しいという協会の願いが込められている。継続的な関わりを持つことで、過去の受賞者や協会の賛同者の中には人気作家として注目を集め、リ・ファッション市場でのビジネスを始めている人も増え始めているとのこと。

今年8月には、上野水上野外音楽堂で行われた「上野コレクション」に、昨年までの受賞作品の中からショーのコンセプトに合った作品を衣装協力の形で提供。ショーに集まった多くの若者に、“リ・ファッション”の情報を発信した。

* 上野コレクション リ・ファッションの部 <https://www.youtube.com/watch?v=FiHzAVstagQ>

イベント学会の金曜サロンで辰巳清 館長と出会い、民俗学者である田中忠三郎氏の衣類や寝具のコレク

ションを常設展示するアミューズミュージアムの活動に感銘を受けた日本リ・ファッション協会では、第4回を開催した昨年より展示投票の会場として協賛を依頼。
同美術館の来館者にも“リ・ファッション”の輪を広げ始めている。



応募総数はまだ二桁が現状。今後は広く作品を募集するために専門学校等とのタイアップも検討中とのこと。

■第二部：特別ツアー

「布文化と浮世絵の美術館 アミューズミュージアム」
館内見学 解説：辰巳清 館長

（概要）

東北の農村や漁村で何代にもわたって愛用されてきた「ぼろ」と呼ばれる衣類や布の研究者でもあった田中忠三郎氏の個人コレクションを常設展示する「布文化と浮世絵の美術館 アミューズミュージアム」を、辰巳清館長の解説を受けながら見学。



館内は常設展示の「BORO(ぼろ)」や古民具、土器、親交があった黒澤明監督の映画に提供した田中氏の個人コレクション等の他、見学時は特別展として青森の南部地方の女性「南部菱刺し前かけ」が展示されていた。

* 布文化と浮世絵の美術館 アミューズミュージアム HP <http://www.amusemuseum.com/>

■第四部：情報交換

鈴木裕士（金谷美術館理事長）＊オブザーバー参加

千葉県富津市金谷に 2010 年にオープンした金谷美術館を紹介。町おこしの活動の 1 つとして開業した美術館の概要や、行政と協力して美術館が運営しているイベントについて発表した。

＊金谷美術館 HP <http://kanayaart.com/index.php>



■コンテスト投票

参加者全員でコンテスト作品に投票。

■第四部：懇親会

18：00 より浅草の「鮎忠」にて実施 ※任意参加



以上